

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	実習
科 目 名		柔道Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎柔道場
担 当 教 員		岩村 一成	実務経験とその関連資格	平成16年より接骨院勤務。平成19年に柔道整復師専科教員免許取得。 平成24年より大阪ハイテクノロジー専門学校で勤務。 柔道整復師・柔道整復師専科教員・講道館柔道五段・認定実技審査員(整備・柔道)			
《授業科目における学習内容》							
講道館柔道の投技である、手技(浮落・背負投・肩車)、腰技(浮腰・払腰・釣込腰)、足技(送足払・支釣込足・内股)を修得する。試合審判規定や投の形を修得していく認定実技審査の形項目を実施する。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験： 100 %							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
認定実技審査実施要綱							
《授業外における学習方法》							
わからないことがあれば、放課後に実施しているゼミなどを活用してください 講道館が発行している「柔道の形」を確認し自主学習を心がけてください。また、柔道の試合などを観戦するのも有効です。							
《履修に当たっての留意点》							
わからないことがあれば、ゼミなどを活用してください。 ケガや身体のこと痛みや制限などがありましたら事前に相談してください。							
授業の方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	礼法、受身を習得する		特に無し	前期履修部分を確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	礼法、受身				
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	手技「浮落」を習得する		特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認	
		各コマにおける授業予定	手技「浮落」の説明および練習				
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	手技「背負投」を習得する		特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認	
		各コマにおける授業予定	手技「背負投」の説明および練習				
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	手技「肩車」を習得する		特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認	
		各コマにおける授業予定	手技「肩車」の説明および練習				
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	「浮落」「背負投」「肩車」を習得する		特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認	
		各コマにおける授業予定	手技のまとめ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰技「浮腰」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	腰技「浮腰」の説明および練習		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰技「払腰」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	腰技「払腰」の説明および練習		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰技「釣込腰」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	腰技「釣込腰」の説明および練習		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	「浮腰」「払腰」「釣込腰」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	まとめ、「腰技」小試験		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	足技「送足払」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	足技「送足払」の説明および練習		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	足技「支釣込足」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	足技「支釣込足」の説明および練習		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	足技「内股」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	足技「内股」の説明および練習		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	「送足払」「支釣込足」「内股」を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	まとめ、「足技」小試験		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	反復練習を実施し技の技能を高める	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	まとめおよび全体練習		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	第1～14回までの全ての技を習得する	特に無し	柔道補講にて受身の練習 体の使い方・技の練習 関連資料にて確認
		各コマにおける授業予定	まとめ		